

---

◎町長行政報告

○議長（渡辺文彦君） 日程第8、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 深澤準弥君 登壇）

○町長（深澤準弥君） 令和3年松崎町議会第4回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

今年も残すところあとわずかとなりました。さて、この1年を、振り返ってみますと、新型コロナウイルスが全国的に猛威をふるい、緊急事態宣言が発令されたことにより、人の移動は極端に制限され、社会経済活動は大きな打撃を受けました。現在、緊急事態宣言は解除され、人の動きも戻りつつありますが、新たな変異株の出現により、感染拡大の脅威は終わったわけではございません。

町といたしましても、感染防止と経済活動の両立を図りながら、町民の皆様の安心安全を確保するとともに、町内経済を支えることが重要であり、国県とも連携しながら、適切な対策を講じてまいります。

それでは、最近の町政の動向について報告いたします。国から方針が示された。3回目の新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、すでに今月から、医療従事者の接種を始めており、当初、3月から予定しておりました。65歳以上の高齢者の接種につきましては、前倒しし、2月の下旬から行うことで考えてございます。

次に、子育て世帯への臨時特別給付事業につきましては、国の指針がなかなか定まらず、翻弄されたところではございますが、本日、24日に対象となる。児童手当受給者210人に児童数にしますと358人分になりますが、先行して5万円を給付いたしました。残りの5万円につきましては、一刻も早い給付を実現するため、本議会での追加議案としての補正予算案を、上程させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

終わりに、今後とも行政全般につきまして、議員の皆様と議論を重ねながら進めてまいり所存でございますので、議員各位のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日は、町営観光施設の入館状況について他、2件についてご報告いたします。詳細は担当課長より申し上げます。

○企画観光課長（八木久保君） それでは、企画観光課から2件の行政報告をさせていただきます

ます。

はじめに町観光施設の入館状況についてでございます。資料No. 1によりご報告させていただきます。1ページをお願いいたします。

伊豆まつぎ荘でございますが、右側の11月までの累計の比較でご説明させていただきます。宿泊利用人員は、蔓延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発令によりまして、9月末までは伸び悩んでおりましたが、10月1日からの松崎割、10月18日からバイズオカが開設されたことによりまして、徐々に回復傾向にあり、宿泊利用人員は、前年比2,554人増の9,298人となりました。収益については、宿泊利用者の増加に伴い、前年比2,993万1千円増の1億2,994万4千円となりました。費用につきましては、宿泊利用者の増加に伴う食事材料費や人件費の増加等により、前年比1,343万6千円増の1億2,782万円となりました。交際費や減価償却費を含めた差し引き損益は、2,967万6千円となりました。

続きまして2ページをお願いいたします。

長八美術館の方ですが、入館者数5,420人で、緊急事態制限中の休館もありまして、昨年と比べ639人の減、収入は34万7千円減の、234万7千円。収支差額は▲814万8千円となりました。

続いて重文岩科学校でございます。入館者数は3,919人で、昨年と比べて、139人の減、収入は11万7千円の増で、298万8千円。収支差額は▲478万7千円となりました。

3ページをご覧ください。旧依田邸の入館者は2,444人。依田の庄の入浴者は、1万2,131人で、収入は552万9千円。収支差額は▲443万9千円となりました。

道の駅三聖苑につきましては255人減の4,933人で収支差額は28万8千円の減で、637万5千円。休暇に伴う人件費等の減少により支出が減少し、収支差額は126万3千円の増で、▲457万1千円となりました。

施設におきましては緊急事態宣言中の休館もありまして、11月末までの累計では、全ての施設において、収支差額は大きなマイナスとなっており、まだまだ厳しい運営状況が続いております。しかしながら、観光客は徐々に戻ってきており、バイズオカの延長が決定し、GoToトラベルの再開も見込まれ、旅客の増加を期待するところではありますが、オミクロン株による新型コロナの再拡大も懸念されることありまして、感染対策を継続して誘客に努めるとともに文化財関係の活用にも努めてまいります。

以上資料No. 1の町営観光施設の入館状況についての報告とさせていただきます。

続きまして、行政報告の2件目第5次総合計画実施計画ローリングにつきまして報告させて

いただきます。資料N o. 2をお願いいたします。実施計画につきましては去る12月14日開催の議会全員協議会におきまして、等資料に基づきまして説明させていただいておりますので、概要のみ説明させていただきます。

松崎町第5次総合計画は、平成25年から10年間にわたる計画でございまして、実施計画につきましては、最終年度となる令和4年度の実施計画を見直したものになります。その結果、新規事業につきましては2件、事業費増が20件、事業費減が10件、変更なしが50件の合計82件となっております。例年と比較いたしますと、変更なしが50件と多くなっていますが、令和4年度の見直しは、3年連続で行ってきておりますので、変更が少なかったものと思われまます。個別の事業につきましては、2ページから6ページに記載しておりますので、後でご覧いただきたいと思ひます。実施計画の説明については以上でございませす。

○生活環境課長（鈴木 悟君） それでは生活環境課から行政報告の3番目公営企業会計、令和3年10月末経営状況について報告をさせていただきます。資料N o. 3をお願いいたします。

はじめに水道事業会計の方でございませす。

本年度10月末収益につきましては、営業収益、営業外収益合わせまして①になりますが、7,146万2千円。前年対比157万5千円。2.2%の減となっております。10月末現在の有収水量につきましては、46万6,629m<sup>3</sup>で、観光省は増加したものの一般用の減少により、前年対比1万6,857m<sup>3</sup>。3.5%の減となり、営業収益は、前年対比157万1千円。2.2%の減となりました。また予定収益を加えた事業収益の合計は④になりますが、7,809万8千円。前年対比176万6千円。2.2%の減となっております。一方、費用の方でございませす。営業費用に予定費用を加えた合計は⑦になりますが、6,651万8千円。前年対比580万3千円。8.0%の減となっております。その結果差引純利益につきましては1,158万円。前年対比403万7千円。53.5%の増となりました。

続きまして、温泉事業会計でございませす。

はじめに収益の方でございませす。営業収益、営業外収益合わせまして①になりますが、2,908万9千円。前年対比146万3千円。4.8%の減となっております。昨年に引き続きコロナウイルス対策による宿泊業者支援として、使用料の減額をしたことにより、営業収益は前年対比143万円。4.7%の減となりました。予定収益を加えた事業収益の合計は④になりますが、3,037万1千円。前年対比146万3千円。4.6%の減となっております。一方費用の方でございませす。営業費用に予定費用を加えた合計は⑦になりますが、2,795万2千円。前年対比22万9

千円、0.8%の減となっております。その結果差引純利益につきましては、241万9千円。前年対比123万4千円、33.8%の減となりました。

水道事業会計、温泉事業会計ともに、使用水量、供給戸数の減少が続いているところでございます。水道事業については収益確保の方策を模索し、温泉事業については収益確保のため、引き続き新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上10月末、公営企業会計の状況についての報告とさせていただきます。

○議長（渡辺文彦君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩いたします。

（午前 9時32分）

---